

# 平成 28 年度第 1 四半期（平成 28 年 4～6 月期） 長岡市景況調査報告書（概要版）

平成 28 年 7 月

長 岡 市  
長岡商工会議所  
(調査機関) 株ホクギン経済研究所

## I. 調査の概要

### 1. 調査の目的

長岡市と長岡商工会議所が共同で、四半期ごとの長岡市内事業所の景気動向を調査することにより、現在の景況を把握し今後の施策に反映させるための基礎資料とする。

### 2. 調査の方法

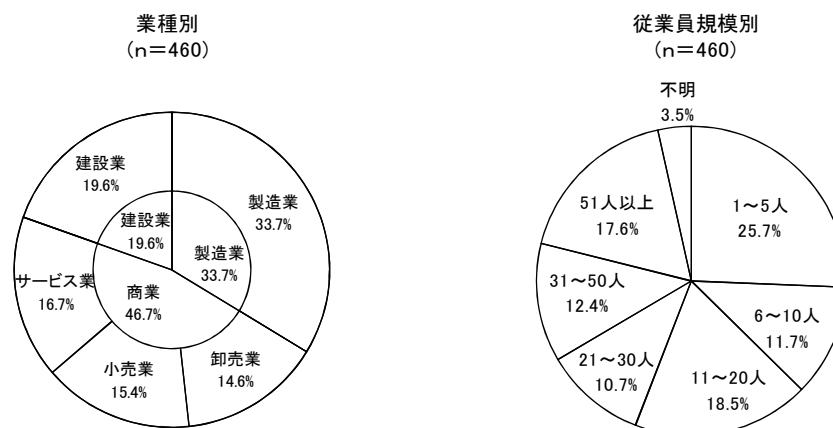
- |           |   |
|-----------|---|
| (1) 期 間   | 平成 28 年 6 月 20 日（月）～平成 28 年 7 月 22 日（金） |
| (2) 方 法   | 郵送による記名アンケート方式                          |
| (3) 対象先数  | 1,491 事業所                               |
| (4) 回答先数  | 有効回答 460 事業所                            |
| (5) 有効回収率 | 30.9% (460/1,491)                       |

### 3. 回収状況

回収状況は下記の通り。

	調査対象企業数 ( )は構成比率(%)	回答企業数 ( )は構成比率(%)	回収率(%)
製 造 業	506 ( 33.9 )	155 ( 33.7 )	30.6
卸 売 業	231 ( 15.5 )	67 ( 14.6 )	29.0
小 売 業	262 ( 17.6 )	71 ( 15.4 )	27.1
サービス業	247 ( 16.6 )	77 ( 16.7 )	31.2
建 設 業	245 ( 16.4 )	90 ( 19.6 )	36.7
合 計	1,491	460	30.9

### <回答企業の内訳>



## II. 調査結果の概要

### 1. 景気動向に関する調査

#### (1) 業況判断の動向

- 平成28年4～6月期の業況判断DI（前年同期比「好転」の事業所割合－「悪化」の事業所割合）は△25.1。前期比0.6ポイントの小幅な悪化となった。
- 平成28年7～9月期は△29.2と、平成28年4～6月期と比較して4.1ポイントの悪化となる見通し。
- 業種別に業況判断DIをみると、製造業は、平成28年4～6月期が△25.4（前期比△11.8ポイント）と悪化した。平成28年7～9月期は△31.4（今期比△6.0ポイント）と悪化する見通し。
- 商業（卸売業、小売業、サービス業の合計）は、平成28年4～6月期が△26.0（前期比△2.0ポイント）と小幅に悪化した。平成28年7～9月期は△28.5（今期比△2.5ポイント）と小幅に悪化する見通し。
- 建設業は、平成28年4～6月期が△22.4（前期比+21.7ポイント）と大幅に改善した。平成28年7～9月期は△27.2（今期比△4.8ポイント）と悪化する見通し。

#### 【現況】(平成28年4～6月期)

業種	好転 (%)	不変 (%)	悪化 (%)	好転－悪化 (DI)	前回調査DI (平成28年1～3月期)
製造業	14.9 (△10.1)	44.8 (+8.4)	40.3 (+1.7)	△25.4 (△11.8)	△13.6
商業	13.5 (△4.2)	47.0 (+6.4)	39.5 (△2.2)	△26.0 (△2.0)	△24.0
建設業	16.9 (+5.2)	43.8 (+11.3)	39.3 (△16.5)	△22.4 (+21.7)	△44.1
全体	14.6 (△4.4)	45.6 (+8.1)	39.7 (△3.8)	△25.1 (△0.6)	△24.5

※( )内の数字は前回調査「平成28年1～3月期の現況」からの増減

#### 【見通し】(平成28年7～9月期)

業種	好転 (%)	不変 (%)	悪化 (%)	好転－悪化 (DI)
製造業	12.4 (△2.5)	43.8 (△1.0)	43.8 (+3.5)	△31.4 (△6.0)
商業	8.7 (△4.8)	54.1 (+7.1)	37.2 (△2.3)	△28.5 (△2.5)
建設業	8.6 (△8.3)	55.6 (+11.8)	35.8 (△3.5)	△27.2 (△4.8)
全体	10.0 (△4.6)	50.8 (+5.2)	39.2 (△0.5)	△29.2 (△4.1)

※( )内の数字は今回調査「平成28年4～6月期の現況」からの増減

<業況好転・悪化の理由>

- ・業況好転・悪化の理由をみると、業況好転の理由は、製造業、小売業、サービス業、建設業では「需要動向の好転」（建設業は「民間需要の好転」）の割合が最も高く、卸売業では「販路の拡大」の割合が最も高かった。
- ・業況悪化の理由は、5業種とも「需要動向の悪化」（建設業は「民間需要の悪化」）の割合が最も高かった。

**業況好転の理由**（上位5位まで、複数回答、下段:%）

業種 \ 順位	1位	2位	3位	4位	5位
製造業 (n=23)	需要動向の好転	販路の拡大	新製品の開発・取扱い	新分野への展開	原材料・仕入価格の下落
	60.9	39.1	34.8	21.7	8.7
卸売業 (n=8)	販路の拡大	需要動向の好転	売上単価の上昇	経費削減の進展	資金繰りの好転
	62.5	25.0	25.0	25.0	12.5
小売業 (n=6)	需要動向の好転	売上単価の上昇	新製品の開発・取扱い	経費削減の進展	新分野への展開
	50.0	33.3	33.3	16.7	16.7
サービス業 (n=15)	需要動向の好転	販路の拡大	売上単価の上昇	原材料・仕入価格の下落	
	46.7	26.7	13.3	13.3	
建設業 (n=14)	民間需要の好転	官公需要の好転	販路の拡大	資金繰りの好転	経費削減の進展
	57.1	50.0	21.4	21.4	14.3

※複数回答のため、割合の合計は100にならない。

**業況悪化の理由**（上位5位まで、複数回答、下段:%）

業種 \ 順位	1位	2位	3位	4位	5位
製造業 (n=61)	需要動向の悪化	原材料・仕入価格の上昇	販路の縮小	売上単価の下落	経費負担の増加
	96.7	11.5	9.8	9.8	6.6
卸売業 (n=26)	需要動向の悪化	販路の縮小	原材料・仕入価格の上昇	売上単価の下落	経費負担の増加
	73.1	30.8	26.9	23.1	7.7
小売業 (n=33)	需要動向の悪化	売上単価の下落	販路の縮小	原材料・仕入価格の上昇	資金繰りの悪化
	51.5	36.4	33.3	18.2	6.1
サービス業 (n=24)	需要動向の悪化	売上単価の下落	経費負担の増加	原材料・仕入価格の上昇	販路の縮小
	83.3	33.3	33.3	16.7	12.5
建設業 (n=35)	民間需要の悪化	官公需要の悪化	売上単価の下落	原材料・仕入価格の上昇	販路の縮小
	82.9	68.6	14.3	8.6	5.7

※複数回答のため、割合の合計は100にならない。

<長期的（平成22年10～12月期以降）にみた趨勢>

- ・平成22年10～12月期から平成24年7～9月期（グラフ期間①）

D Iは、東日本大震災により大きく落ち込んだ後、緩やかに改善した。業種別では、製造業が一貫して下降トレンドであったのに対して、商業と建設業が着実な改善基調を示した。

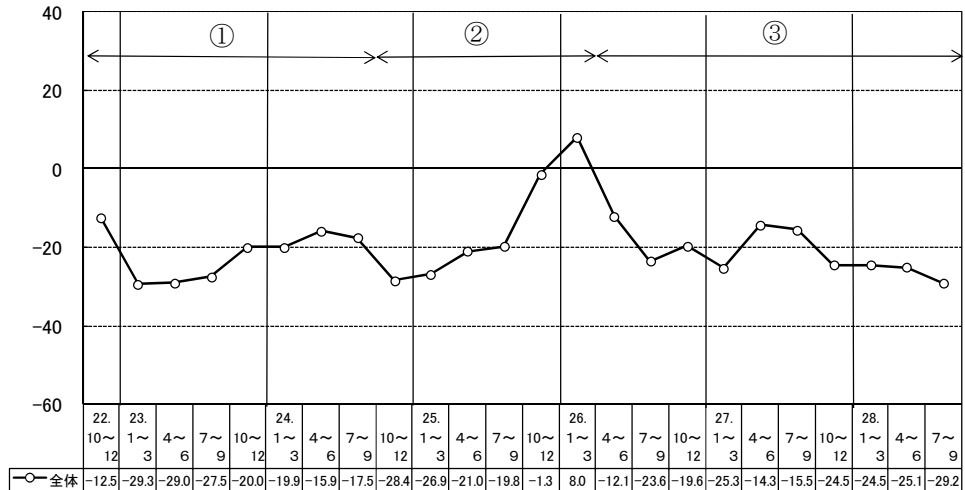
- ・平成24年10～12月期から平成26年1～3月期（グラフ期間②）

D Iは、平成24年10～12月期に落ち込んだが、その後は緩やかに改善し、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要を背景に、平成26年1～3月期にはプラス圏内まで回復した。業種別では、製造業、商業、建設業いずれも改善基調を示した。

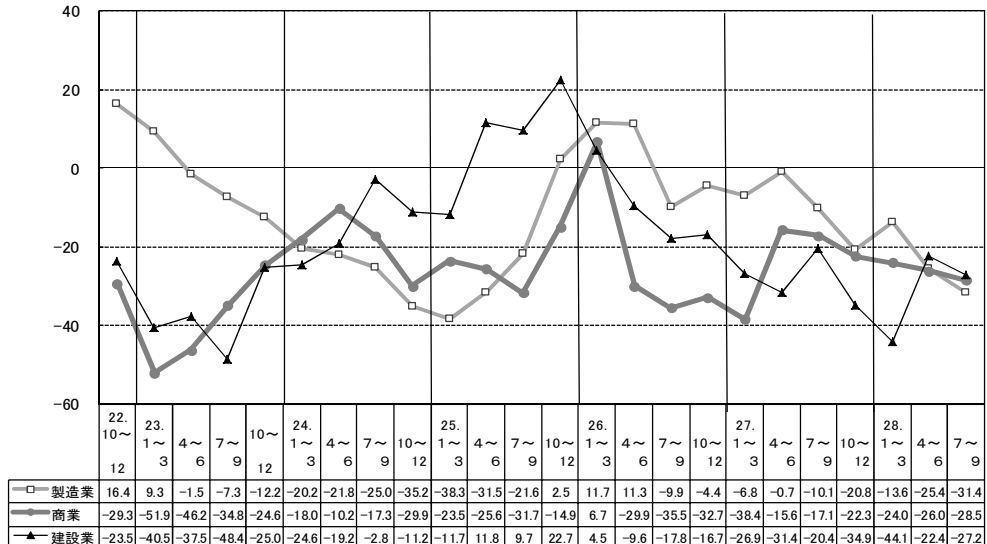
- ・平成26年4～6月期から平成28年7～9月期（グラフ期間③）

消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減により、D Iは平成26年4～6月期から2期連続で悪化。その後は回復感に乏しい動きが続いた。平成27年4～6月期に前期比11.0ポイント改善し、消費税率引き上げの影響から脱して回復基調を辿ることが期待されたが、平成27年7～9月期以降は足踏み状態が続いている。業種別では、製造業、商業、建設業とも回復感に乏しい動きが続いている。

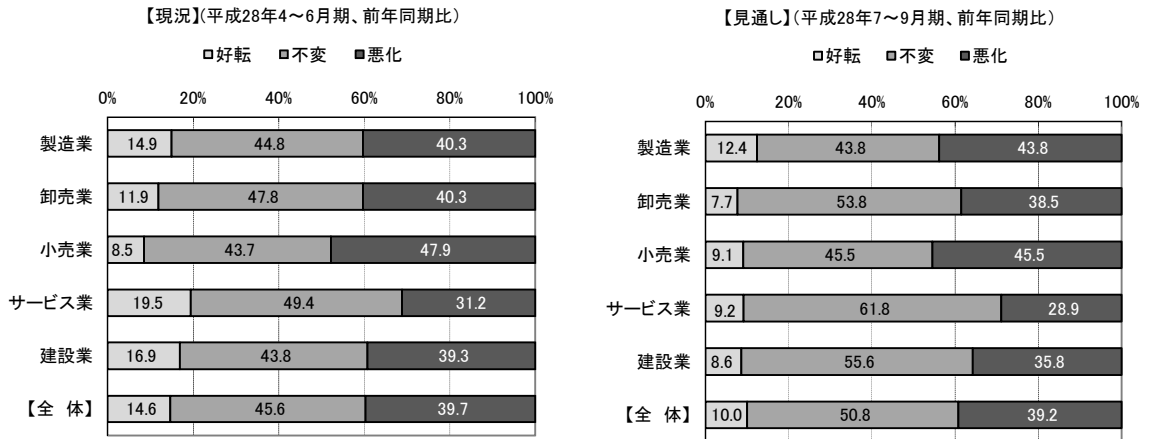
業況判断DI（前年同期比）の推移 <全体>



業況判断DI（前年同期比）の推移 <業種別>



- ・ 5業種別に業況判断の動向をみると、平成28年4～6月期は、「悪化」の回答割合が小売業（47.9%）で高くなっている。
- ・ 平成28年7～9月期は、「悪化」の回答割合が小売業（45.5%）、製造業（43.8%）で高くなる見通し。



- ・ 業種ごとの詳細は次の通り。(コメントの内容は前年同期比)

製造業	現況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 繊維・織物、印刷・製本、鋳鍛造品は改善。</li> <li>・ 菓子は悪化。</li> </ul>
	先行き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 菓子は改善の見通し。</li> <li>・ 印刷・製本、金属製品、一般機械、電気機械は悪化の見通し。</li> </ul>
卸売業	現況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食料・飲料は小幅な悪化。</li> <li>・ 繊維品・衣服は悪化。</li> </ul>
	先行き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 繊維品・衣服は改善の見通し。</li> <li>・ 食料・飲料は小幅な改善の見通し。</li> </ul>
小売業	現況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動車は改善。</li> <li>・ 食料品、酒、衣料品は悪化。</li> </ul>
	先行き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食料品、自動車、酒は改善の見通し。</li> <li>・ 衣料品は横這いの見通し。</li> </ul>
サービス業	現況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運輸は改善。</li> <li>・ 旅館・ホテルは悪化。</li> </ul>
	先行き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飲食店は小幅な悪化の見通し。</li> <li>・ 運輸、旅館・ホテルは悪化の見通し。</li> </ul>
建設業	現況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合建設、土木、管工事は改善。</li> <li>・ 電気工事は悪化。</li> </ul>
	先行き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土木、建築、電気工事は小幅な悪化の見通し。</li> <li>・ 総合建設、管工事は悪化の見通し。</li> </ul>

※コメントは、回答企業数が概ね5先以上の業種を対象としている。

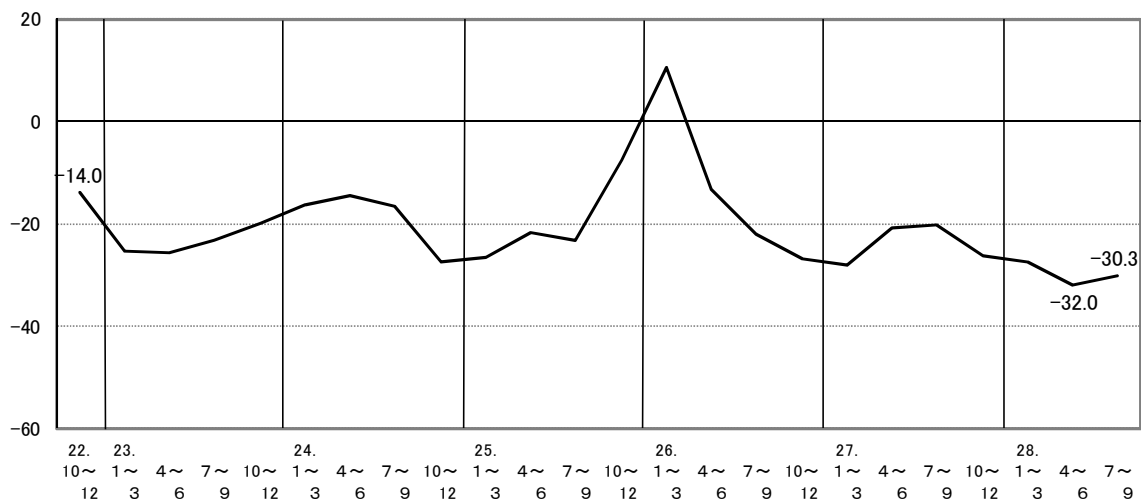
## (2) 売上高の動向

- ・平成28年4～6月期の売上高DI（前年同期比「増加」の割合－「減少」の割合）は全体で△32.0。平成28年1～3月期（△27.4）と比較して4.6ポイントの悪化となった。業種別では、製造業、卸売業、小売業で悪化した。
- ・平成28年7～9月期の売上高DIは、全体では△30.3と、平成28年4～6月期比1.7ポイントの改善となる見通し。業種別では、卸売業、小売業、建設業で改善する見通し。

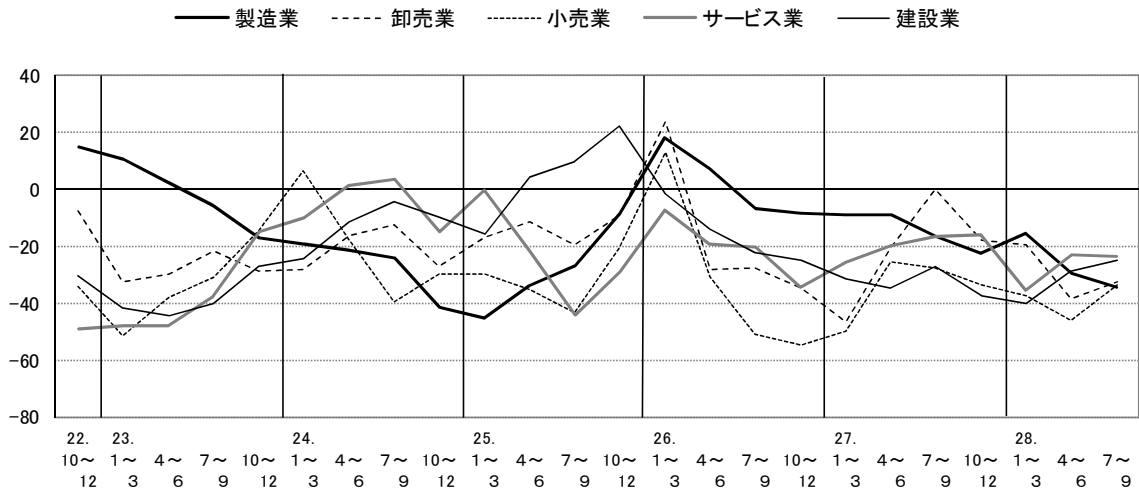
売上高の動向(前年同期比)

業 種	前回調査DI (平成28年 1～3月期)	現況（平成28年4～6月期）				見通し（平成28年7～9月期）			
		増 加 (%)	不 変 (%)	減 少 (%)	増加-減少 (DI)	増 加 (%)	不 変 (%)	減 少 (%)	増加-減少 (DI)
製 造 業	△15.4	18.9	32.9	48.3	△29.4	15.2	35.5	49.3	△34.1
卸 売 業	△19.6	14.0	33.3	52.6	△38.6	10.9	45.5	43.6	△32.7
小 売 業	△37.5	12.7	28.6	58.7	△46.0	12.3	42.1	45.6	△33.3
サービス業	△35.2	17.1	42.9	40.0	△22.9	11.8	52.9	35.3	△23.5
建 設 業	△40.0	20.0	31.3	48.8	△28.8	11.1	52.8	36.1	△25.0
全 体	△27.4	17.2	33.7	49.2	△32.0	12.8	44.1	43.1	△30.3

売上高DI(前年同期比)の推移【全体】



### 業種別売上高DI(前年同期比)の推移



- 業種ごとの詳細は次の通り。(コメントの内容は前年同期比)

製造業	現況	<ul style="list-style-type: none"> <li>印刷・製本は改善。</li> <li>菓子、金属製品、一般機械は悪化。</li> </ul>
	先行き	<ul style="list-style-type: none"> <li>菓子は改善の見通し。</li> <li>繊維・織物、印刷・製本、一般機械は悪化の見通し。</li> </ul>
卸売業	現況	<ul style="list-style-type: none"> <li>食料・飲料は小幅な改善。</li> <li>繊維品・衣服は悪化。</li> </ul>
	先行き	<ul style="list-style-type: none"> <li>繊維品・衣服、食料・飲料は改善の見通し。</li> </ul>
小売業	現況	<ul style="list-style-type: none"> <li>衣料品は改善。</li> <li>食料品、酒は悪化。</li> </ul>
	先行き	<ul style="list-style-type: none"> <li>食料品、自動車は改善の見通し。</li> <li>酒は横這いの見通し。</li> </ul>
サービス業	現況	<ul style="list-style-type: none"> <li>運輸は改善。</li> <li>旅館・ホテルは悪化。</li> </ul>
	先行き	<ul style="list-style-type: none"> <li>飲食店は改善の見通し。</li> <li>運輸、旅館・ホテルは悪化の見通し。</li> </ul>
建設業	現況	<ul style="list-style-type: none"> <li>土木、管工事は改善。</li> <li>総合建設、電気工事は悪化。</li> </ul>
	先行き	<ul style="list-style-type: none"> <li>土木は改善の見通し。</li> <li>総合建設、電気工事、管工事は悪化の見通し。</li> </ul>

※コメントは、回答企業数が概ね5先以上の業種を対象としている。

### (3) 設備投資の動向

- ・平成28年4～6月期の設備投資は、全体では「実施しなかった」が78.5%（前回調査77.1%）を占め、依然として設備投資に慎重な先が多い。業種別では、「実施しなかった」との回答割合は、卸売業（86.6%）、建設業（83.1%）、小売業（80.3%）で8割を超えた。
- ・平成28年4～6月期で設備投資を実施した事業所の投資内容は、「設備」、「車両・運搬具」、「OA機器」などが多い。
- ・平成28年7～9月期は、設備投資を「計画していない」が全体で69.2%と、設備投資に慎重な姿勢が続く見通し。業種別では、「計画していない」との回答割合は、建設業（83.3%）で高い。
- ・平成28年7～9月期に設備投資を計画している事業所の投資内容は、「設備」、「車両・運搬具」、「付帯施設」などが多い。

#### 【現況】平成28年4～6月期の設備投資

業種	実施した(%) 【( )内は事業所数】	投資内容(事業所数、複数回答)								実施しなかった(%)
		土地	建物	設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
製造業	25.5 (39)	2	5	22	5	6	10	0	2	74.5
卸売業	13.4 (9)	1	1	1	5	0	1	1	1	86.6
小売業	19.7 (14)	3	3	6	5	2	2	0	0	80.3
サービス業	28.0 (21)	1	8	6	7	6	5	1	2	72.0
建設業	16.9 (15)	1	1	1	10	2	6	0	0	83.1
全体	21.5 (98)	8	18	36	32	16	24	2	5	78.5

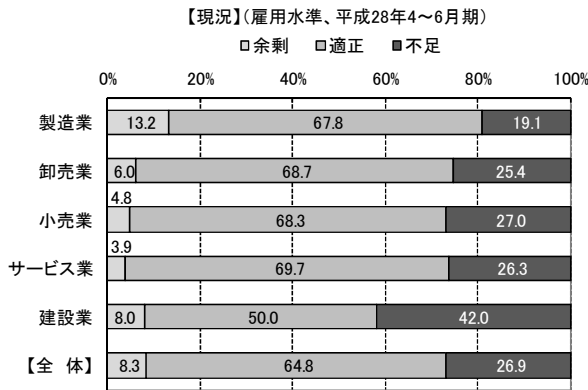
#### 【計画】平成28年7～9月期の設備投資

業種	計画している(%) 【( )内は事業所数】	投資内容(事業所数、複数回答)								計画していない(%)
		土地	建物	設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
製造業	39.6 (61)	1	4	36	8	10	8	1	4	60.4
卸売業	27.3 (18)	0	2	1	7	5	3	0	2	72.7
小売業	25.4 (18)	3	5	10	3	7	3	1	1	74.6
サービス業	37.8 (28)	0	5	10	10	8	4	1	5	62.2
建設業	16.7 (15)	1	1	2	9	1	3	0	2	83.3
全体	30.8 (140)	5	17	59	37	31	21	3	14	69.2



#### (4) 雇用の動向

- 平成28年4～6月期の雇用水準は、全体では「余剰」8.3%（平成28年1～3月期8.3%）、「適正」64.8%（同63.4%）、「不足」26.9%（同28.3%）。
- DI（「余剰」の割合－「不足」の割合）は△18.6で、平成28年1～3月期（△20.0）と比べて雇用の不足感がやや改善した。
- 業種別では、建設業が△34.0と雇用の不足感が大きい。



雇用の動向

業種	前回調査DI	現況DI
	(水準、平成28年1～3月期)	(水準、平成28年4～6月期)
製造業	△15.9	△5.9
卸売業	△12.7	△19.4
小売業	△17.9	△22.2
サービス業	△32.1	△22.4
建設業	△25.3	△34.0
【全体】	△20.0	△18.6

- 平成28年4～6月期の従業員数は、全体で「増加」14.9%（平成28年1～3月期12.9%）、「不変」73.0%（同70.4%）、「減少」12.2%（同16.7%）。
- 平成28年7～9月期の従業員数は、全体で前年同期比「増加」13.4%、「不変」76.7%、「減少」9.8%。

